

国語総合 シラバス

教 科	国 語	単 位 数	5 単 位	学科・学年・コース	1年普通科 普通コース
使用教科書	「改訂版 新編 国語総合」(第一学習社)				
副 教 材 等	「改訂版 新編 国語総合学習課題集」(第一学習社) 「常用漢字ダブルクリア三訂版」(尚文出版) 「カラー版 新国語便覧」(第一学習社)				

1 学習の到達目標

① 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成する。 ② 伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。 ③ 言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成する。 ④ 現代の文章や古典を読み、読書に親しむ態度を育成する。

2 学習方法

授業の進め方

- ①最初の授業でオリエンテーションを行い、授業の進め方、学習方法、評価方法等について説明する。
- ②学習計画にそって授業を行い、課題提出、小テスト等を通して学習内容の定着を図る。
- ③図書館を利用した調べ学習を取り入れ、辞書及び便覧活用の定着を図る。

3 提出課題等について

年間を通して行う提出課題

- ①授業・家庭学習で使用したノートやワークシート(プリント)の提出 ※プリント類は必ずファイルに綴ること。
- ②漢字学習「常用漢字ダブルクリア三訂版」P6～P93(5級から3級までの範囲)の提出

1学期の課題・・・意見文

- ・校内弁論大会の予選を兼ねて原稿用紙1000字～1200字程度の意見文を書いて発表する。
- ※日頃から身の回りの事に関心を持ち題材探しをしておくこと。

夏休みの課題・・・読書感想文

- ・詳細は夏休み前に連絡をする。読書に親しむ生活を心がけておくこと。

4 評価規準・評価方法

評価の観点				
a 関心・意欲・態度	b 話す・聞く能力	c 書く能力	d 読む能力	e 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり話し合ったりして、自分の考えをまとめ深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ深めている。	文章を的確に読み取ったり目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。

5 学習の計画

期 月	教 材	授 業 時 間	学 習 目 標	評 価 の 観 点				
				関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 解
一 学 期	オリエンテーション	1	○年間の学習目標を設定し、授業への心構えを作る。	○	○			○
	図書館オリエンテーション	1	○図書館の利用マナーについて理解する	○	○			○
	4 基礎学習	2	○文章を読み漢字や語句の知識を養う	○		○		○
	新しい出会い 挨拶上手	7	○随想の読み方を習得する。 ○挨拶の持つ意味について考える。 ○社会との関わり方について目を向けるきっかけとする。	○	○	○	○	○
	5 古文入門 古文の学習 鳩と蟻のこと (伊曾保物語) 古文を読むために①	8	○古文のリズムに気をつけて、音読・暗唱する。 ○古文を学習する意義を知り、今後の学習に意欲を持つ。 ○古文に親しみを持つ。 ○古文の基礎的な知識を学ぶ。	○			○	○
	意見文 (校内弁論大会原稿)	4	○自分の身の周りや社会に関心を持つ。 ○自らの意見を述べ、他者の意見を聞く。	○	○	○		
	小説を読む(一) 指	8	○短編小説のおもしろさを味わう。 ○登場人物の心理・行動を的確に読み取る。 ○小説を自分の経験に引きつけて読む態度を養う。	○	○	○	○	○
	中間考査							
	6 漢文入門 漢文の学習 訓点 格言	6	○漢文を学習する意義を知り今後の学習に意欲を持つ。 ○漢文に親しみを持つ。 ○訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。	○			○	○
	故事成語 狐借虎威	5	○漢文訓読の基本事項を確認する。 ○平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。				○	○
	詩の楽しみ 道程 小景異情 六月	6	○詩の鑑賞のしかたを習得する。 ○詩に込められた心情を理解する。 ○作者の人生観、自然観について考える。 ○詩に描かれた心情を味わい、想像力や感受性を養う。	○	○		○	○
	7 生活の中の表現 日本語のこころ	7	○論理的要素を持つ随想を的確に読解する。 ○身近な表現から、言葉を通して日本人の発想や心情などを理解する態度を養う。	○	○	○	○	○
	期末テスト							
	平和学習	2	○平和に関する文章を読み、人生について考える	○			○	
	古文を読むために② 古文に親しむ 児のそら寝 古文を読むために③	10	○現代語訳をするため知識を身につける。 ○古文の読解に慣れ、適切な口語訳をする。 ○古典文法基礎(用言の活用)を身に付ける。	○			○	○
	8 社会と人間	7	○論理的要素を持つ随想を的確に読解する。				○	○
	9 人はなぜ仕事をするのか		○仕事をすることの意義について主体的に考え、話し合う。	○	○		○	○

学 期	9	漢詩の鑑賞 唐詩五首	8	○漢詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ○詩形・押韻・構成・対句などの漢詩のきまりを理解する。	○			○	○
	10	小説を読む(二) 羅生門	12	○近代の代表的な小説を読んで、読解力を養う。 ○登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。				○	○
		中間考査							
	11	随筆を読む 枕草子 徒然草	10	○随筆を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ○文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	○			○	○
		現代と社会 「ネットの時代」をどう生きるか	8	○論理的要素を持つ随想を的確に読解する。 ○ネット社会での生き方について、自身の問題として考える姿勢を養う。	○	○		○	○
	12	表現の実践 手紙の書き方	4	○手紙の価値と必要性を理解し、実際に手紙を書く。 ○手紙の形式を理解し、形式をふまえた手紙を書く技術を身につける。	○		○		○
		期末考査							
		人間の風景 十六歳のとき	10	○随想の読み方を習得する。 ○同年代の若者の心象に触れ、自らの人生について考える姿勢を養う。	○	○		○	○
	言語活動 古典の和歌を現代の言葉で書き換える	6	○和歌によまれた感情・情景を読み取り、自分のイメージと言葉で書き換える。 ○古典を現代の言葉で書き換えることで、伝統的な言語文化への興味・関心を広げる。	○		○	○	○	
三 学 期	1	物語を楽しむ 伊勢物語	10	○歌物語を読んで、古文に親しむ。 ○歌物語における和歌の役割を理解する。 ○和歌を味読し、修辞技巧を理解する。	○			○	○
	2	小説を読む(三) よだかの星	10	○童話的な作品の鑑賞のしかたを身につける。 ○生きることに對する思いと理解を深める。	○	○		○	○
		寓話・小話 両頭蛇(蒙求)	7	○まとまった文章の漢文に触れ、訓読のきまりについて確認する。 ○寓話・小話の意味や教訓を読み取る。				○	○
		学年末考査							
	3	短歌と俳句 大切な言葉	6	○短歌の鑑賞のしかたを習得する。 ○俳句の鑑賞のしかたを習得する。 ○日本語への理解を深め、想像力や感受性を豊かにする。	○	○	○	○	○
		表現の実践 スピーチをする	4	○スピーチをしたり聞いたりする際の留意点を理解し、実際にスピーチをする。	○	○			○
	一年間の総括	1	○一年間の学習内容を振り返り、次年度の学習目標を立てる。	○					